

土木鋼構造診断士補 継続学習・教育記録申告書（様式）

フリガナ	設問(1)	日
氏名（署名）	A. 継続教育学習・記録申告書 の内容を選んで記載する場合の記入例	
勤務		

* 本申告書は、資格者ご自身が資格期間中に積まれた**主な**学習・教育実績を確認するためのものです。

* 土木鋼構造診断士の資格を新たに取得もしくは更新して登録された日から現在（申告日）までの期間で、土木構造物に対する点検・診断の技量を維持・向上させるために参加した**主な**講習会や発表などを下記様式の分類に従って記入してください。ただし、鋼構造に関するものを優先して記入してください。また、継続学習・教育の記録が必修を除いて10件を超える場合は主なものを10件までとし、それ以上の記入は不要です。

登録番号	SIIE—	対象期間	～	年	月
------	-------	------	---	---	---

（1枚目/全 枚）

番号	実施内容	実施日	活動単位
a	講習会 *講習会、研修会、講演会、シンポジウム等の参加について申告してください。 （講習会名、主催者） （概要）		（時間、分）
a-①	2020年度土木鋼構造診断士・診断士補 更新講習 【更新講習動画（ネット配信）】 主催：日本鋼構造協会	ホームページをご参照下さい。	○時間○○分 （出席必須）
a-②	2020年度土木学会講習会	2020年○月○日	2時間
a-③	【解答用紙記入例】		
b	診断士補		
b-①	2020年 「土木鋼構造診断士補」修了考查 解答用紙 設問(1) A Bのどちらか選んだ方に○をし、該当する項目を記入してください。		
b-②	☒ A 継続学習・教育記録申告書		
b-③	<選んだ番号> a - ② <選んだ講習会等の名称> 2020年度土木学会 講習会		
c	※ a グループの場合は講習会名、bグループの場合は論文タイトル等、cグループの場合は講習会・講演会・委員会の名称を記載すること。		
c-①	更新講習会を選ぶ場合は、a-①「2020年度土木鋼構造診断士・診断士補 更新講習」と記載すること。		
c-②	B. 業務経歴証明書 <「業務経歴経歴」欄に記載した期間> 年 月～ 年 月		

* 継続学

* 継続学習・教育の記録が1枚に収まらない場合は複数枚に分けて作成してください。その場合は、全てのページに署名を入れてください。